



# 常陸大宮市総合計画 重点事業計画

【令和4年度】

## 実績・評価結果

---

【令和4年度実施事業】

令和5年9月  
茨城県常陸大宮市

# 常陸大宮市総合計画 重点事業計画

【令和4年度】

## 実績・評価結果

【令和4年度実施事業】

### 目次

	ページ
1 常陸大宮市総合計画について	－ 1 －
2 重点事業計画について	－ 2 －
3 重点事業計画の実績・評価について	－ 3 －
【重点事業一覧】	
第1章：未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち	－ 4 －
第2章：だれもが安心してらせるまち	－19－
第3章：自然と調和した快適で安全なまち	－29－
第4章：みんなでつくる協働のまち	－38－
第5章：魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち	－46－

# 1 常陸大宮市総合計画について

総合計画は、市が目指す将来像及び進むべき方向性を明確にすることで、その実現に向け市民と行政が目標を共有し、ともに取り組むための計画とするとともに、市政運営の指針となり、分野別のまちづくりを進めるうえでの最上位の指針としての役割を果たします。

総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「重点事業計画」で構成します。

## (1) 基本構想

基本構想は、本市の持続的な発展を目指し、長期的な視点に立った一貫したまちづくりのビジョンを示すものです。この基本構想は、概ね2050年（令和32年）頃を展望した長期構想（ビジョン）とし、目指すべき市の将来像やまちづくりの基本的な理念などを掲げ、その実現に向けた施策の大綱を定めます。

## (2) 基本計画

基本計画は、基本構想を実現するために示された施策の大綱に基づいて、社会経済情勢の変化を可能な限り予測し、市が推進すべき個別施策の体系を具体的に定めます。また、重点的・優先的に取り組む施策等について、施策体系の枠組みを超え、横断的かつ総合的に進めることにより、相乗的な効果を発揮させ、その効果が期待できるものを位置づけた取組として「政策プロジェクト」を設定します。

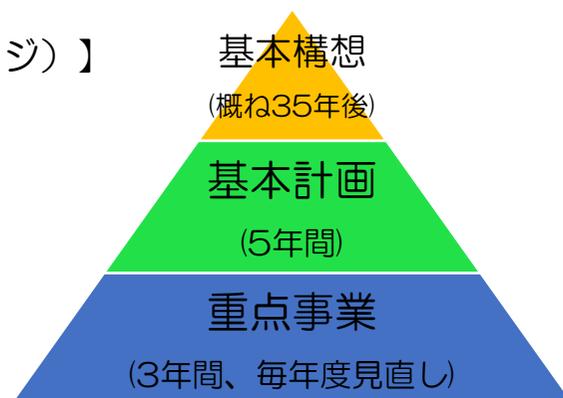
基本計画の期間は、2022年度（令和4年度）から2026年度（令和8年度）までの5年間とし、以後、社会経済情勢等に迅速に対応するため、5年ごとに見直しをします。

## (3) 重点事業（重点事業計画）

重点事業は、より重要性・緊急性の高い課題等に対応するため、基本計画で定めた施策を実現するための具体的な事業の中から、重点的に取り組む事業として位置付けるものです。

重点事業を取りまとめた計画（重点事業計画）の期間は原則3年を基本とし、社会経済情勢や財政状況の変化、市民ニーズへの対応等を勘案しながら、毎年度見直しを行います。

### 【総合計画の構成（イメージ）】



## 2 重点事業計画について

### (1) 重点事業について

常陸大宮市の将来像である「人が輝き 安心・快適で 活力と誇りあふれるまち」の実現に向け、基本構想及び基本計画に位置付けられる事業のうち、より重要性・緊急性の高い課題等に対応するため、重点的に取り組むべき主要な事業を「重点事業」とします。

特に、基本計画において設定した「政策プロジェクト」の実現に大きく関係・寄与する事業については、プロジェクトの実現に向け、重点事業として位置づけ、重点的に事業の推進を図ります。

また、まち・ひと・しごと創生法に基づき策定した「常陸大宮市創生総合戦略」で位置づけられた事業についても、原則重点事業として位置づけ、重点的に事業の推進を図ります。

### (2) 重点事業計画

重点事業を取りまとめた計画です。本計画は、常陸大宮市総合計画基本計画（ひたちおおみや未来創造アクションプラン）の施策体系に沿って表示しています。

なお、対象となる事業は、計画期間中に実施される事業に限ります。

- ① 「政策プロジェクト」に該当する事業には該当するプロジェクトを、「第2期常陸大宮市総合戦略」に位置づく事業には「○」が付されています。
- ② 当該年度概算事業費は、令和4年度の当該事業に係る経費を取りまとめた概算の額です。
- ③ 主な事業内容には、令和4年度に実施する事業の主な内容を記載しています。
- ④ 重点事業計画では、事業の取組の効果を図るため、成果目標を設定いたします。  
なお、事業の性質上、成果目標の設定がない事業もあります。

### (3) 重点事業計画の期間

重点事業計画の計画期間については、令和4年度から令和6年度の3か年とします。なお、事業内容は毎年度見直しを行います。

### (4) 重点事業計画の実績・評価

重点事業計画の進捗状況を把握するとともに、事業の取組の効果や成果を測るため、事業毎に設定した成果目標に対する実施結果（実績）から、「目標がどれだけ達成できたのか」・「どれだけ成果が出ているのか」などの観点で検証・評価を行います。そこから得た結果を踏まえ、事業を展開するうえでの課題や方向性、方針を明確にすることで、今後の事業内容の改善等を行い、効果的・効率的な事業実施につなげていきます。なお、事業に対する評価については、毎年度実施します。

### 3 重点事業計画の実績・評価について

見方							常陸大宮市総合計画 重点事業計画(令和4年度)		
NO.	1	事業名	元気ひたちおおみや結婚応援事業			総合戦略	○	成果(実績)	
担当部署	地域創生部定住推進課 定住推進G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	120人
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	2,178千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	1,175千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費		課題・今後の方向性	市商工会へ委託した婚活イベントや県マリッジサポーター協議会と連携した取組を継続していく。例月の結婚相談事業に関してはより効果的な事業となるよう結婚相談員と共に検討を行う。
事業目的	少子化の一因とされる生涯未婚者や晩婚化の進行を抑制するため、結婚応援事業を実施する。				成果目標	結婚相談者		方針	B 現行どおり
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚応援サポーターによる結婚相談、マッチング、情報提供等</li> <li>婚活イベント(婚活パーティー、セミナー等)の開催</li> <li>「一般社団法人いばらき出会いサポートセンター」入会登録料の一部助成</li> </ul>				令和4年度	100人			
					令和5年度	100人			
					令和6年度	100人			

### 成果(実績)・評価結果等について

【令和4年度】

成果目標で設定した項目に対する実施結果を「実績」とし、令和4年度の実績(実績値)となります。

【評価結果】

事業の進捗や実績等を踏まえた令和4年度の事業に対する評価結果です。

なお、評価にあたっては、成果目標に対する実績値で達成度を求め、その結果を評価基準とし、事業内容や事業の取組状況等を勘案して、以下の4項目から評価をしています。

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| A 期待通りの成果(達成度:100%以上)       | B 概ね期待通りの成果(達成度:80~99%)      |
| C 期待した成果を下回っている(達成度:50~79%) | C 期待された成果があがっていない(達成度:50%未満) |

※例:【成果目標】結婚相談者100人…実績は120人/100人=120% → A 期待通りの成果

【課題・今後の方向性】

事業の実施や成果目標の実現に向けての課題、成果目標が達成できなかった要因などを具体的に記載しています。また、事業の実施や成果目標を実現するにあたって、今後の方向性や取り組み方を記載しています。

【方針】

次年度以降の事業の実施の在り方について、所管課の方針を以下から選定してください。

- |      |         |       |      |         |      |      |
|------|---------|-------|------|---------|------|------|
| A 拡充 | B 現行どおり | C 見直し | D 縮小 | E 休止・廃止 | F 完了 | G 統合 |
|------|---------|-------|------|---------|------|------|

# 大綱 1

未来を拓き、自分らしく輝く  
ひとを育むまち

---

NO.	1	事業名	元気ひたちおおみや結婚応援事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部定住推進課 定住推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	120人
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	2,178千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	1,175千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	少子化の一因とされる生涯未婚者や晩婚化の進行を抑制するため、結婚応援事業を実施する。				成果目標	結婚相談者		課題・今後の方向性	市商工会へ委託した婚活イベントや県マリッジサポーター協議会と連携した取組を継続していく。 例月の結婚相談事業に関してはより効果的な事業となるよう結婚相談員と共に検討を行う。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚応援サポーターによる結婚相談、マッチング、情報提供等</li> <li>婚活イベント（婚活パーティー、セミナー等）の開催</li> <li>「一般社団法人いばらき出会いサポートセンター」入会登録料の一部助成</li> </ul>				令和4年度	100人			
					令和5年度	100人			
					令和6年度	100人			
方針							B 現行どおり		

NO.	2	事業名	出産祝い金支給事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部子ども課（福祉事務所） 子どもG				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	144件
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	9,396千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	7,400千円			
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費			
事業目的	次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに健やかな成長を願い、出産祝い金を支給し、子育てを支援する。				成果目標	支給件数		課題・今後の方向性	国全体の出生数の減少が加速化していることもあり、目標には及ばなかった。 「出産・子育て応援給付金交付事業」の創設に伴い、本事業は見直しとするが、市の総合的な少子化対策のひとつとして今後も継続する。
主な事業内容 (R4年度)	以下のとおり祝い金を支給する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1子 30,000円</li> <li>第2子 50,000円</li> <li>第3子 70,000円</li> <li>第4子 100,000円</li> <li>第5子以降 200,000円</li> </ul>				令和4年度	240件			
					令和5年度	240件			
					令和6年度	240件			
方針							C 見直し		

NO.	3	事業名	不妊治療・不育症検査助成事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部健康推進課 母子保健G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	60 件
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	11,591 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	8,567 千円			
予算科目	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費		課題・今後の方向性	新聞・テレビ等を通して、広く事業の周知を図った。今後も引き続きメディア等を活用した周知に努めていく。
事業目的	不妊治療に要する費用を助成することにより、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担軽減を図る。また、2回以上の流産・死産の既往のある方に対し、保険適用外の不育症検査の費用の助成を行い、不育症検査を受ける夫婦の経済的負担の軽減を図る。				成果目標	申請件数			
主な事業内容 (R4年度)	<small>・不妊治療費助成 治療開始日の妻（事実上の婚姻関係を含む）の年齢が43歳未満の夫婦が行った不妊治療（体外受精・顕微受精及び男性不妊治療）に要した自己負担額について全額を助成（健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証の額を上限）※令和3年度中に治療を開始し、令和4年度に治療が終了した方は、従前の事業対象とし、茨城県不妊治療費補助金を差し引いた全額を助成 ・不育症検査費助成 流産を2回以上繰り返す不育症の方に対し、保険適用外の検査費等の費用について、1回につき15万円を上限とし助成</small>				令和4年度	60 件			
					令和5年度	60 件			
					令和6年度	60 件			
		方針				B 現行どおり			

NO.	4	事業名	マタニティサポート事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部健康推進課 母子保健G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	100 %
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	808 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	632 千円			
予算科目	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費		課題・今後の方向性	利用者の満足度が高く、必要性の高い事業である。今後も対象者の満足度やニーズを把握し、よりよい事業内容を検討していく。
事業目的	妊産婦に対する各種支援を行い、子どもを生み育てやすい環境づくりに取り組み、地方創生のための人口減少対策として、事業を推進する。				成果目標	助産師によるなんでも相談利用者の満足度			
主な事業内容 (R4年度)	<small>・妊婦歯科健康診査の助成 ・マタニティ・子育てタクシー助成 ・産前産後サポート事業の実施（助産師によるママと赤ちゃんのなんでも相談） ・産後ケア事業の実施（産科医療機関及び茨城県助産師会と契約し、宿泊や日帰り・訪問により、母体のケアや育児サポートを提供）</small>				令和4年度	100 %			
					令和5年度	100 %			
					令和6年度	100 %			
		方針				B 現行どおり			

NO.	5	事業名	子育て短期支援事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所）こどもG				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	2人
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	624千円		評価結果	D 期待された成果があがっていない
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	5千円			
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費			
事業目的	緊急時の児童預かり（宿泊型等）を実施し、市民の多様なニーズに対応した保育サービスの充実を図る。				成果目標	利用者数		課題・今後の方向性	広報紙、ホームページ及び窓口での利用案内等、事業の周知を行い、利用者数の増加を図るとともに、引き続き、緊急時の預かり先として受け入れ態勢を整えていく。
主な事業内容 (R4年度)	市外の児童養護施設と業務委託契約を締結し、緊急時の児童預かりに対応する。 また、夜間の一時預かり事業を一部の市内施設で実施する。 さらに、援護が必要な世帯の登録を推進し、緊急時への保護者の不安軽減を図るため、本事業の周知を行う。					令和4年度	10人		
						令和5年度	10人		
						令和6年度	10人		
		方針		B 現行どおり					

NO.	6	事業名	赤ちゃんの駅設置推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所）こどもG				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	1,188回
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	132千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	126千円			
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費			
事業目的	公共施設や民間施設において、授乳やオムツ替えのできる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭の保護者の外出環境を整え、地域全体で安心して子どもを生み育てやすい環境づくりを推進する。				成果目標	赤ちゃんの駅利用回数		課題・今後の方向性	・見込み通りの利用件数となっているため、引き続き利用しやすい環境づくりに努める。 ・コロナ禍での制限等が解除され、今後は市内でもイベント等が行われるため、移動式赤ちゃんの駅の利用についても引き続き周知していく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の赤ちゃんの駅の運営</li> <li>移動型赤ちゃんの駅の貸出</li> <li>民間施設への赤ちゃんの駅設置</li> <li>赤ちゃんの駅の周知・啓発</li> </ul>					令和4年度	1,000回		
						令和5年度	1,000回		
						令和6年度	1,000回		
		方針		B 現行どおり					

NO.	7	事業名	放課後児童健全育成事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所） こどもG				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」			
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	156,764 千円		令和4年度	539 人
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	141,004 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費			
事業目的	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、保育所（園）・学校の空き教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて児童の健全育成を図る。				成果目標	登録児童数		課題・今後の方向性	受入学年に制限のあるクラブについて令和5年度以降の受入拡充を行う。 （大宮小学校で1教室増やし、4年生まで受け入れを行う。）
主な事業内容 （R4年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立放課後児童クラブの運営（公立：6施設） 大宮小、大宮西小、大賀小、山方小、美和小、御前山小</li> <li>・民間施設への業務委託（私立：6施設） あゆみ認定こども園、緒川げんき保育園、御前山認定こども園、どんぐりくらぶ、子コロッコロ、野上保育園</li> <li>・山方放課後児童クラブ整備事業</li> </ul>				令和4年度	530 人			
					令和5年度	530 人			
					令和6年度	530 人		方針	A 拡充

NO.	8	事業名	乳児育児用品購入助成事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所） こどもG				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」			
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	4,273 千円		令和4年度	154 人
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	3,600 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費			
事業目的	少子化対策の一環として、子育て世帯の経済的負担を軽減し、出生数、転入者の増加を図るため、1歳未満の子どもがいる世帯に対し、乳児育児用品（オムツ等）の購入費用を助成する。				成果目標	交付対象乳幼児数		課題・今後の方向性	国全体の出生数の減少が加速化していることもあり、目標には及ばなかったが、市の総合的な少子化対策のひとつとして今後も継続する。
主な事業内容 （R4年度）	乳児一人当たり1回を限度として、20,000円の乳児育児用品購入助成券を交付する。				令和4年度	270 人			
					令和5年度	270 人			
					令和6年度	270 人		方針	B 現行どおり

NO.	9	事業名	こどもセンター運営事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所） こどもセンター			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	2,448 件
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	83,733 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	94,253 千円			
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	05 こどもセンター費			
事業目的	「子育て、療育、就学前、就学後、卒業後、就労」に至る継続した支援を「生涯にわたる切れ目のない支援」と捉え、こどもセンターが司令塔となり、子どもが母親のお腹にいるときから、社会自立まで一貫した切れ目のない支援を行う。				成果目標	こどもセンター相談件数		課題・今後の方向性	子供とその保護者の抱える問題や相談内容等の分析を行いながら1件1件懇切丁寧に対応を行っていく。そのためには、個々の能力向上を図り組織力を高めていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども療育支援事業</li> <li>発達の気になる子どもに対し療育支援を行い教育につなげる</li> <li>子ども家庭総合支援拠点事業（家庭児童相談事業（～R3））</li> <li>支援を要する家庭に対し相談業務を行い、虐待を未然に防止する</li> <li>子育て世代包括支援センター事業（既存事業）</li> <li>妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援を行う</li> <li>地域子育て支援拠点事業（既存事業）</li> <li>乳幼児を持つ親とその子どもたちの交流の場を提供する</li> </ul>				令和4年度	500 件			
					令和5年度	1,000 件			
					令和6年度	1,000 件			
方針							B 現行どおり		

NO.	10	事業名	保育料等負担軽減事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所） こどもG			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	-
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	0 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	0 千円			
予算科目	款	-	項	-	目	-			
事業目的	児童福祉向上のため、保育施設に在籍する児童の保護者に対し、財政措置を行い、保護者負担の軽減を図る。				成果目標			課題・今後の方向性	国・県の補助事業でもあるため、情勢をみながら今後の方向性を検討していく。※保育所等に入所する対象年齢児童数（令和4年度）：317人
主な事業内容 (R4年度)	保育所等に通う0～2歳児を対象とし、保育所保育料を第2子半額、第3子無料とする。また第1子についても、市民税所得割税額に応じて最大32,000円まで減額する。				令和4年度	-			
					令和5年度	-			
					令和6年度	-			
方針							B 現行どおり		

NO.	11	事業名	子育て支援サイト「ハッピー子育て」運営事業			総合戦略	○	成果（実績）		
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所）こどもG			事業区分	重点事業					
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	95 件	
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	372 千円				
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	369 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果	
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費				
事業目的	子育て世代に対する情報発信の手段として、WEBサイト・スマホアプリを構築することにより、利用者が必要な情報を得ることができる子育て環境を整備する。				成果目標	子育てアプリダウンロード数		課題・今後の方向性	令和4年12月にお悩み相談機能を新規追加し、ホーム画面のレイアウト変更を行い、チラシも一新した。今後も子育て世帯が集まる場所等へのチラシの設置、ホームページ、SNS等で再度アプリの周知を行いダウンロード数の増加につなげる。	
主な事業内容 (R4年度)	WEBサイト、スマートフォン、紙媒体を利用した情報発信 ・妊娠、出産、子育てに関する制度や保健情報 ・乳児検診、予防接種などの行政情報 ・子どもの年齢にあった子育て情報 ・災害時には子育て中の方にあつた防災情報などを配信 ・子育て相談					令和4年度	100 件			
						令和5年度	100 件			
						令和6年度	100 件			
		方針		B 現行どおり						

NO.	12	事業名	保育対策総合支援事業			総合戦略		成果（実績）		
担当部署	保健福祉部こども課（福祉事務所）こどもG			事業区分	重点事業					
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	9 施設	
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	33,457 千円				
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	15,670 千円		評価結果	A 期待通りの成果	
予算科目	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	01 児童福祉総務費				
事業目的	総合的な保育人材の確保や施設の改修や衛生・安全対策など、保育対策の基盤整備に必要な事業の推進を図る。				成果目標	実施保育所等数		課題・今後の方向性	保育士の負担軽減や老朽化した施設の改修等の補助事業を活用し、今後も保育事業を推進する。	
主な事業内容 (R4年度)	・保育環境改善等事業（安全対策事業、保育環境向上等事業） ・保育体制強化事業 ・保育補助者雇上強化事業 ・保育所等業務効率化推進事業					令和4年度	8 施設			
						令和5年度	8 施設			
						令和6年度	8 施設			
		方針		B 現行どおり						

NO.	13	事業名	ショッピングセンターピサーロ子ども広場整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	50%
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	42,677 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 子ども・子育て支援の充実			当該年度事業決算額	16,921 千円			
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工費			
事業目的	子育て世代から雨天時にも利用できる公園等の整備要望の声が多いことから、ショッピングセンターに子ども広場を設置することで子育て支援を推進するとともに、施設利用者増による地域経済の活性化を図る。				成果目標	子ども広場整備		課題・今後の方向性	第1期工事の着工は遅れたものの、概ね目標を達成できた。供用開始に向けて第2期工事、遊具設置等を行っていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども広場整備工事実施設計に係る委託料</li> <li>ショッピングセンターテナント借上料</li> <li>子ども広場整備に係る工事費</li> </ul>				令和4年度	30%			
					令和5年度	100%			
					令和6年度	—			
		方針					B 現行どおり		

NO.	14	事業名	英語検定受験補助事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 学校教育G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	19.54%
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	1,381 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
	施策名	2. 教育の充実			当該年度事業決算額	398 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費			
事業目的	公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の積極的な受験を促すことによって、中学生の英語に対する学習意欲を高め、もって英語力の向上を図るため、英検を受験する中学生の保護者に対し、英語検定料補助金を交付する。				成果目標	4級以上合格者の割合		課題・今後の方向性	英検4級以上合格した令和4年度末の保有者は全生徒865人中169人で、19.54%であった。補助金利用者では、受験者198人に対して合格者126人と合格率63.64%となったが、受験者が前年と比べて82人減少している。学校を通じて補助事業の周知と英検受験の促進を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	対象者：市内の中学校に通学している生徒であって、英検4級以上を受験した生徒の保護者 補助金の額：1会計年度につき3回を限度とし、公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の検定料の1/2の額（100円未満切捨） 申請：受験日の属する年度の末日までに学校を経由して提出。交付決定後保護者口座に振込。 報告：交付決定者は受験結果を学校に報告。学校は市に報告。				令和4年度	32.8%			
					令和5年度	32.8%			
					令和6年度	32.8%			
		方針					C 見直し		

NO.	15	事業名	ひたまる読書活動推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 指導室				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	59%
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	2,944 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	2. 教育の充実			当該年度事業決算額	2,596 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費			
事業目的	学習環境（学校図書館）を整備し、児童生徒がより一層本に親しむ機会をつくるとともに、読書の習慣化を図る。また、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな感性や表現力等の育成を図る。				成果目標	読書感想文の取り組み度		課題・今後の方向性	学校図書館専任職員の配置による整備・啓発を継続する。次年度はポップコンテストを開催し、さらに小中学生の読書力・表現力を養う。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館専任職員の配置 5名</li> <li>・研修会の実施</li> </ul>				令和4年度	50%			
					令和5年度	55%			
					令和6年度	60%			
		方針		B 現行どおり					

NO.	16	事業名	友好都市教育交流事業（指導室）			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 指導室				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	1回
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	402 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	2. 教育の充実			当該年度事業決算額	389 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	全国学力・学習状況調査で上位に位置する秋田県の大館市教員を招聘し、研修会を開催することで本市学校教育の充実・発展を図る。また、大館市で開催される総合研究会へ教職員を派遣し資質の向上を図る。				成果目標	模擬授業や研究協議実施等交流の回数		課題・今後の方向性	学力が高い大館市の授業を学ぶことにより、教職員の指導力・授業力の向上、しいては児童生徒の学力向上を目指す。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市教職員による大館市総合研究会への参加（小学校2名・中学校2名）</li> <li>・参加教職員による報告会の実施</li> </ul>				令和4年度	2回			
					令和5年度	2回			
					令和6年度	2回			
		方針		B 現行どおり					

NO.	17	事業名	「確かな学力」育成プロジェクト			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 指導室				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	79.2%
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	10,598 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	2. 教育の充実			当該年度事業決算額	9,838 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費			
事業目的	児童生徒の知識を活用する力、学習意欲、学習習慣等を育むため、児童生徒一人一人の特性をとらえ、若手教職員を育成し、講義動画等を導入し、個別最適化された学力向上を図る。				成果目標	全国学力調査児童生徒質問事項		課題・今後の方向性	今年度のデータを基に、次年度以降はCRT（標準学力検査／目標基準調査）を導入し、さらに満足度が上がるよう推進する。
主な事業内容 (R4年度)	各種検査等の実施 ・NINO（知能能力検査）小2～中3 年1回 ・NRT（標準学力検査）小2～中3 年1回 ・hyper-QI（学級満足度調査）小1～中3 年2回 各種講演会、研修会等の実施 ・「学級づくり・集団づくり」に係る教育講演会 ・「授業づくり・授業改善」に係る学習会教育講演会 ・確かな学力育成教育講演会 ・K-13法学習会 講義動画の実入				令和4年度	79.0%			
					令和5年度	79.3%			
					令和6年度	79.6%			
方針	A 拡充								

NO.	18	事業名	学校施設整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 学校教育G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	14 施設
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	24,124 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	2. 教育の充実			当該年度事業決算額	19,948 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費			
事業目的	大規模改修を行うなど、児童生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整備する。				成果目標	改修施設数		課題・今後の方向性	14校すべてで事業計画したが完了した。なお、合併前から存在する学校施設の多くは、建築から30年を超えており、今後も施設改修を見込む。大規模な改修として、LED化、プール改修、バリアフリー化を計画している。
主な事業内容 (R4年度)	・大賀小学校受水槽更新工事 ・大宮西小学校公共下水道接続・浄化槽解体工事 ・小学校情報ネットワーク環境整備事業（全校） ・中学校情報ネットワーク環境整備事業（明峰中除く）				令和4年度	14 施設			
					令和5年度	0 施設			
					令和6年度	0 施設			
方針	B 現行どおり								

NO.	19	事業名	地域学校協働本部事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	468 回
	政策名	1. 未来を担う子どもたちを育むまちづくり			当該年度概算事業費	2,265 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 子ども・青少年の健全育成			当該年度事業決算額	1,634 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		課題・今後の方向性	地域と学校が一体となり「学校を核とした地域づくり」を目指す。
事業目的	地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの学びを支援することにより、地域の教育力の向上を図る。				成果目標	実施回数(総数)			
主な事業内容 (R4年度)	常陸大宮市地域学校協働本部事業実行委員会の開催 5月及び2月(2回) 地域学校協働活動推進員の配置 学校支援ボランティアの募集及び名簿等の作成 地域住民による学校支援活動及び児童生徒による地域活動への参加				令和4年度	200 回			
					令和5年度	200 回		方針	B 現行どおり
					令和6年度	200 回			

NO.	20	事業名	芸術ふれあい体験事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	107 人
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	500 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	4. 生涯学習活動の推進			当該年度事業決算額	366 千円			
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		課題・今後の方向性	小学校の授業において、市内で活躍する芸術家によるワークショップを行い、芸術に関する意識の醸成を図る。
事業目的	小学生の授業へ市内に居住する芸術家を派遣しワークショップを開催し、プロの作品に接し指導を受けることにより芸術への関心を深めるとともに自ら作品を作ることで想像力や個性を養う。				成果目標	参加者数			
主な事業内容 (R4年度)	・常陸大宮市内在住作家によるワークショップの実施 ・常陸大宮大使でもある芸術家による小学生を対象としたワークショップの実施				令和4年度	80 人			
					令和5年度	80 人		方針	B 現行どおり
					令和6年度	0 人			

NO.	21	事業名	市史編さん事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 文化振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	1回
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	25,437 千円			
	施策名	5. 歴史文化遺産の保護・活用と芸術・文化の振興			当該年度事業決算額	23,423 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費			
事業目的	市域の歴史・文化・自然環境等を総合的に調査・研究し、編さん・刊行することで、市民のふるさとへの愛着と誇りを育み、内外の交流をもたらして一層の市の一体化を推進するとともに、未来の市民への歴史的資産とする。				成果目標	常陸大宮市史の発刊		課題・今後の方向性	今後数十年にわたって、常陸大宮市教育行政の基礎資料となるものであるから、計画通り遂行すべきである。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市史編さん審議会及び編さん委員会の開催。</li> <li>・部会ごとの調査、研究</li> <li>・「常陸大宮市史研究」の刊行</li> <li>・調査・研究の課程や成果の公開・発信</li> <li>・教育普及活動</li> <li>・市史資料編2「古代・中世」の刊行</li> </ul>				令和4年度	1回			
					令和5年度	1回			
					令和6年度	1回			

NO.	22	事業名	泉坂下遺跡保存事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 文化振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	5件
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	16,204 千円			
	施策名	5. 歴史文化遺産の保護・活用と芸術・文化の振興			当該年度事業決算額	15,263 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 文化財保護費			
事業目的	国指定となった泉坂下遺跡の周知活動や史跡整備を行うことで、史跡及び重要文化財の保存・活用に努める。				成果目標	国指定重要文化財の修復		課題・今後の方向性	国指定史跡・重要文化財であり、市に保存活用の責務があるため、継続した事業が求められる。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉坂下遺跡の教育普及活動</li> <li>・指定文化財等の保存・活用</li> <li>・泉坂下遺跡保存活用整備検討委員会の開催</li> <li>・国指定重要文化財の修復</li> <li>・第5次泉坂下遺跡調査報告書の刊行</li> </ul>				令和4年度	5件			
					令和5年度	5件			
					令和6年度	5件			

NO.	23	事業名	文化財保存活用地域計画推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 文化振興G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	0回
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	418千円			
	施策名	5. 歴史文化遺産の保護・活用と芸術・文化の振興			当該年度事業決算額	0千円		評価結果	D 期待された成果があがっていない
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 文化財保護費			
事業目的	文化財保存活用地域計画の推進				成果目標	文化財保存活用地域計画協議会の開催		課題・今後の方向性	設定する成果目標や事業の内容などの見直しが必要である。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保存活用地域計画協議会の開催</li> <li>地域資源の保存・活用</li> <li>関連文化財群の把握・保存・活用</li> <li>文化財保存活用区域の保存・活用</li> </ul>				令和4年度	2回			
					令和5年度	2回			
					令和6年度	2回			

NO.	24	事業名	文化振興事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 文化振興G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	2団体
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	1,450千円			
	施策名	5. 歴史文化遺産の保護・活用と芸術・文化の振興			当該年度事業決算額	892千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費			
事業目的	郷土の有形・無形の文化財を伝承する団体の保存・継承活動を支援することで、郷土に対する誇りや愛着の醸成を図り、古くから地域に伝わる伝統文化の保全・伝承に努める。				成果目標	伝統文化の継承団体への補助		課題・今後の方向性	新型コロナの影響により返戻金が生じた。補助の趣旨からも、現行どおり事業継続が求められる。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統文化連絡協議会等関連の教育普及活動</li> <li>伝統文化連絡協議会の開催</li> <li>指定文化財等の保存・継承に係る助成</li> </ul>				令和4年度	2団体			
					令和5年度	2団体			
					令和6年度	2団体			

NO.	25	事業名	スポーツ教室等開催事業			総合戦略		成果（実績）		
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 スポーツ振興G			事業区分	重点事業					
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	6 事業	
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	4,668 千円				
	施策名	6. スポーツ活動の推進			当該年度事業決算額	3,769 千円		評価結果	A 期待通りの成果	
予算科目	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 スポーツ振興費				
事業目的	スポーツ教室を実施することで、市民がスポーツに取り組む機会と継続的に実施する意欲を高めることを目的とする。				成果目標	スポーツ教室数		課題・今後の方向性	6事業に784人の参加者がおり、今後も子ども達がスポーツに関わるきっかけを持てるよう継続が求められる。	
主な事業内容 (R4年度)	初心者向けのスポーツ体験教室の企画、運営を行うとともに、オリンピック・パラリンピアンなどのトップアスリートを招聘し、スポーツに対する意識の向上に努める。 ・スポーツ教室開催 ・オリンピック・パラリンピアン交流事業					令和4年度	5 事業			
						令和5年度	5 事業			
						令和6年度	5 事業			方針

NO.	26	事業名	競技スポーツ支援事業			総合戦略		成果（実績）		
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 スポーツ振興G			事業区分	重点事業					
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	11 件	
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	395 千円				
	施策名	6. スポーツ活動の推進			当該年度事業決算額	406 千円		評価結果	A 期待通りの成果	
予算科目	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 スポーツ振興費				
事業目的	関東大会以上の各種大会へ出場する団体又は個人などへの派遣費用の一部助成を行う。				成果目標	助成団体・個人数		課題・今後の方向性	昨年度は目標を上回る実績であり、事業内容の趣旨からも継続が必要。	
主な事業内容 (R4年度)	地区の予選会を経て、関東・全国大会に出場する団体、個人へ宿泊費及び交通費の一部（1/3）を助成する。 県民駅伝に出場する当市を代表するチームへの協力。					令和4年度	4 件			
						令和5年度	4 件			
						令和6年度	4 件			方針

NO.	27	事業名	地域スポーツ活動支援事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 スポーツ振興G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	3,146人
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	2,304千円			
	施策名	6. スポーツ活動の推進			当該年度事業決算額	2,186千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	01 保健体育総務費			
事業目的	総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブひたまる25」の活動拠点である旧大場小の施設管理を行いつつ、クラブを育成・支援し、市民のスポーツ活動の機会を増やす。				成果目標	クラブ主催イベントへの参加人数		課題・今後の方向性	イベント参加者は目標を上回ってはいるが、会員数が増えていない。今後も市民のスポーツ活動の機会や会員数を増やせるよう支援を継続する必要がある。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理（旧大場小の光熱水費、修繕費等）</li> <li>広報活動の協力（広報常陸大宮への掲載）</li> <li>参加者が固定化した教育委員会主催スポーツ教室の「スポーツクラブひたまる25」への移管</li> </ul>				令和4年度	3,000人			
					令和5年度	3,000人			
					令和6年度	3,000人			

NO.	28	事業名	大宮運動公園市民球場整備事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局文化スポーツ課 スポーツ振興G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	1. 未来を拓き、自分らしく輝くひとを育むまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	50%
	政策名	2. 生涯にわたって元気に学びあう環境づくり			当該年度概算事業費	309,910千円			
	施策名	6. スポーツ活動の推進			当該年度事業決算額	301,400千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	02 体育施設費			
事業目的	経年による施設の老朽化に伴い、大規模な改修（暗渠排水・スコアボード）を行うことで、県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的利用を可能とし、利用率の向上を目的とする。				成果目標	整備進捗率		課題・今後の方向性	県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的で利用できることを市内外にPRを行い、利用の向上を図る。
主な事業内容 (R4年度)	グラウンド面は暗渠排水の改修に合わせて全面人工芝化、また、腐食し飛散事例もあるバックスクリーンはフルカラーLED式スコアボードへ改修を行う。				令和4年度	50%			
					令和5年度	100%			
					令和6年度	—			

## 大綱2

だれもが安心して暮らせるまち

---

NO.	29	事業名	医師確保事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部医療保険課 医療・年金G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	6人
	政策名	1. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり			当該年度概算事業費	291,732 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 安心できる医療体制の充実			当該年度事業決算額	291,446 千円			
予算科目	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	01 保健衛生総務費			
事業目的	市内の公的医療機関において地域医療を担う人材の育成及び確保を図る。				成果目標	市が関与して確保した医師数(公的医療機関)		課題・今後の方向性	現在の寄附講座を更新しながら、新規で循環器科・整形外科の医師を確保する必要がある。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療を担う人材確保修学資金貸与事業 既貸与者2名に修学資金を貸し付ける。</li> <li>・寄付講座設置（東京医科歯科大学、東京女子医科大学）</li> <li>・常陸大宮市済生会病院医師確保等事業補助</li> </ul>				令和4年度	6人			
					令和5年度	7人			
					令和6年度	7人			

NO.	30	事業名	特定健康診査等事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部健康推進課 健康推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	49.3%
	政策名	1. 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり			当該年度概算事業費	2,702 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	2. 総合的な健康づくりの推進			当該年度事業決算額	1,793 千円			
予算科目	款	05 保健事業費	項	01 特定健康診査等事業費	目	01 特定健康診査等事業費			
事業目的	予防可能な糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の有病者・予備軍を減少させ、市民の健康の維持向上及び医療費の抑制を図る。				成果目標	特定検診受診率		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診率は県内2位であるが、目標の60%に達していない。</li> <li>・家庭訪問や個別通知及びショートメールサービスを利用した受診勧奨を行う。</li> <li>・生活習慣病の発症・重症化予防を抑制し、健康寿命の延伸や医療費の適正化を図ることを目指すものであるため、現行どおりとする。</li> </ul>
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の実施（集団健診・個別医療機関健診）</li> <li>・特定健康診査二次健診の実施</li> <li>・健診会場における健診当日保健指導</li> <li>・家庭訪問や来所等による保健指導の実施</li> <li>・受診率向上に向けた広報等による周知・啓発</li> </ul>				令和4年度	60%			
					令和5年度	60%			
					令和6年度	60%			

NO.	31	事業名	ファミリーサポート事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部社会福祉課（福祉事務所） 社会福祉G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	46人
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	669千円			
	施策名	3. 地域福祉の充実			当該年度事業決算額	504千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費		課題・今後の方向性	引き続き制度の周知により登録協力会員を増やしていく。
事業目的	障害者自立支援法や児童福祉法、介護保険法等の制度では対象としないサービスについて、市民相互による援助活動を支援する。				成果目標	登録協力会員数			
主な事業内容 (R4年度)	常陸大宮市社会福祉協議会に業務を委託し、事業運営を推進する。 ・会員の募集及び登録 ・援助活動の調整 ・援助活動に係る講習及び指導				令和4年度	25人			
					令和5年度	25人		方針	B 現行どおり
					令和6年度	25人			

NO.	32	事業名	障害者地域生活支援事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部社会福祉課（福祉事務所） 社会福祉G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	59人
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	43,786千円			
	施策名	4. 障害者福祉の充実			当該年度事業決算額	37,820千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	09 障害者福祉費		課題・今後の方向性	引き続き対象者へ制度の案内を実施する。
事業目的	障害のある方などの福祉の向上を図るとともに、障害の有無に関わらず、市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。				成果目標	日中一時支援事業の利用人数			
主な事業内容 (R4年度)	・相談支援事業 ・日常生活用具給付等事業 ・移動支援事業 ・訪問入浴サービス事業 ・日中一時支援事業 ・障害者基幹相談支援センター運営事業				令和4年度	70人			
					令和5年度	70人		方針	B 現行どおり
					令和6年度	70人			

NO.	33	事業名	ふれあい収集事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	70 件
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	16,237 千円			
	施策名	5. 高齢者福祉の充実			当該年度事業決算額	6,942 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費			
事業目的	家庭から排出されるごみ等をごみ集積所まで搬出することが困難である高齢者等及び障がい者等の負担を軽減し、自立した日常生活を支援するため、戸別訪問による家庭ごみ等の収集サービスを実施する。				成果目標	ふれあい収集申請件数		課題・今後の方向性	申請件数は概ね期待通りだが、引き続き制度の周知に努め、利用者の増加を目指す。 ※実申請数は70件、うち年度途中の利用終了及び休止16件
主な事業内容 (R4年度)	高齢者等又は障害者等のみで構成される世帯であり、家庭ごみ等をごみ集積所まで搬出することが困難であり、親族、近隣在住者等の協力を得ることについても困難である世帯に対して、玄関前等で週1回ごみの収集を行う。				令和4年度	80 件			
					令和5年度	80 件			
					令和6年度	90 件			

NO.	34	事業名	一般介護予防事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部長寿福祉課（福祉事務所） 高齢者支援G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	146 人
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	9,110 千円			
	施策名	5. 高齢者福祉の充実			当該年度事業決算額	4,751 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
予算科目	款	03 地域支援事業費	項	02 一般介護予防事業費	目	01 一般介護予防事業費			
事業目的	高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、市民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。さらに、地域においてリハビリテーションに関する専門的知見を有する者を生かした自律支援に資する取り組みを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進する。				成果目標	高齢者介護予防教室の参加者数		課題・今後の方向性	コロナウイルス感染症対策のため距離を確保できる人数で実施した。高齢者の介護予防とサロン活動・集いの場づくりを行う重要な事業であり、現行どおり継続する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防把握事業：支援を要する者を早期に見出し、介護予防活動へつなげる。</li> <li>・介護予防普及啓発事業：介護予防活動の基本的な知識の普及・啓発を行う。</li> <li>・地域介護予防活動支援事業：地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う。</li> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業：介護予防の取り組みを機能強化するため、リハビリテーションの専門家等が地域包括ケア会議や通いの場へ出向き、介護予防に対する総合的な取り組みを行う。</li> </ul>				令和4年度	270 人			
					令和5年度	270 人			
					令和6年度	270 人			

NO.	35	事業名	認知症総合支援事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	保健福祉部長寿福祉課（福祉事務所） 高齢者支援G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	30 件
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	112,244 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
	施策名	5. 高齢者福祉の充実			当該年度事業決算額	105,206 千円			
予算科目	款	03 地域支援事業費	項	03 包括支援事業及び任意事業費	目	01 包括支援事業及び任意事業費			
事業目的	認知症の容態の変化に応じ、必要な医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携するネットワークを形成し、効果的な支援が行われる体制を構築するとともに、地域の実情に応じて、認知症ケアの向上を図るための取組を推進する。				成果目標	医療・介護等への支援につなげた件数		課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症対策のため距離を確保できる人数で実施した。認知症者が近年増加傾向にあるため、早期に発見し支援につなげるためにこの事業は重要であるため、現行どおり継続する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援推進事業：認知症になっても本人の意思を尊重し、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援を行う。</li> <li>・認知症地域・ケア向上事業：南部および北部包括支援センター認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方やその家族を支援していく。また、「認知症カフェ」を開設し、本人や家族だけではなく、地域住民や専門職が集うことで、認知症の方を支えるつながりの支援を行う。</li> <li>・認知症予防教室「スマイル教室」の開催：認知症の初期の段階からかかわることで、重症化を予防し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援する。</li> </ul>				令和4年度	48 件			
					令和5年度	48 件			
					令和6年度	48 件			
		方針		B 現行どおり					

NO.	36	事業名	医療福祉費支給事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	保健福祉部医療保険課 医療・年金G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	6,026 人
	政策名	2. みんなで助けあい支え合うまちづくり			当該年度概算事業費	316,472 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	6. 社会保障の充実			当該年度事業決算額	267,974 千円			
予算科目	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	05 医療福祉費			
事業目的	妊産婦、小児（0歳から高校3年生）、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び重度心身障害者の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、これらの者の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。				成果目標	受給者数		課題・今後の方向性	令和5年10月に小児・妊産婦の所得制限を廃止する。
主な事業内容 (R4年度)	受給者（妊産婦、小児（0歳から18歳）、ひとり親、障害者、療育手帳A及びまるA、特別児童扶養手当1級、障害年金1級、精神障害者保健福祉手帳1級所持者）に対して、健康保険法の規定する患者負担分を負担する。				令和4年度	6,250 人			
					令和5年度	6,250 人			
					令和6年度	6,250 人			
		方針		A 拡充					

NO.	37	事業名	防災対策推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	総務部危機管理課 危機管理G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	569人
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	1,078千円			
	施策名	7. 防災・危機管理体制の充実			当該年度事業決算額	823千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費			
事業目的	常陸大宮市地域防災計画に基づき、災害発生時における防災活動の円滑化を期すとともに防災機関との協力体制を強化し、併せて市民の防災に関する理解と意識の高揚を図る。				成果目標	避難訓練の参加者数		課題・今後の方向性	市民の防災意識向上と職員等関係者の災害対応の習熟度を図るうえで重要であるため、現行どおり継続する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練の実施(毎年)及びマイタイムライン作成講習会等の開催</li> <li>Web版ハザードマップの管理運営</li> <li>応援協定に基づく、医療職・技術職・技能職等の職員の派遣、生活必需品の供給、応急対策業務</li> <li>災害時応援用応急井戸の公表並びに、協力井戸の募集及び水質検査</li> <li>防災会議の開催</li> <li>災害対策本部の設置</li> </ul>				令和4年度	500人			
					令和5年度	500人			
					令和6年度	500人			

NO.	38	事業名	自主防災組織活動育成事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	総務部危機管理課 危機管理G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	81%
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	4,200千円			
	施策名	7. 防災・危機管理体制の充実			当該年度事業決算額	1,872千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費			
事業目的	市民の防災に関する理解と防災意識の高揚を図り、地震・風水害・火災等の大規模災害が発生、または発生する恐れがある場合に被害を防止し、若しくは軽減し、または予防するため、自主防災組織を育成し、地域防災体制の充実を図る。				成果目標	自主防災組織の設置割合		課題・今後の方向性	結成の促進はもとより、今後は各組織と市や消防団等の災害対応に係る組織間の連携強化を図ることが重要となると考える。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の未結成区に対して、組織体制づくりや、防災マップの作成など防災計画書（防災カルテの作成・防災マップの作成など）作成の指導</li> <li>結成時や活動等に係る事業費等の補助（結成時50,000円、資機材購入200,000円、資機材更新100,000円、活動費100,000円の補助）</li> <li>自主防災組織の結成区が実施する防災訓練の支援</li> <li>市の避難訓練への市民参加促進。災害時の初期対応や避難誘導などの体験を通して防災に関する理解と意識の高揚や、自主防災組織の育成を推進。</li> </ul>				令和4年度	75%			
					令和5年度	78%			
					令和6年度	83%			

NO.	39	事業名	備蓄倉庫整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	総務部危機管理課 危機管理G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	2棟
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	22,474千円			
	施策名	7. 防災・危機管理体制の充実			当該年度事業決算額	22,161千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	04 災害対策費			
事業目的	迅速な避難所開設のため、開設が多く見込まれる避難所及び地域の中核となる施設に備蓄倉庫を設置する。				成果目標	備蓄倉庫整備棟数		課題・今後の方向性	頻発化、激甚化する災害に迅速に対応するため、既存施設の有効活用も検討のうえ計画的に推進する必要があると考える。
主な事業内容 (R4年度)	各地域の公的施設の一室などを備蓄倉庫として指定するほか、必要に応じて建設する。 ・大宮地域の東部コミュニティセンター及び大宮南部コミュニティセンターに建設 ・各地域センター内の一室を指定 ・備品の購入				令和4年度	2棟			
					令和5年度	0棟			
					令和6年度	0棟			

NO.	40	事業名	消防団員入団確保事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	消防本部総務課 地域消防G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	12人
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	497千円			
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	207千円		評価結果	D 期待された成果があがっていない
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	01 消防費			
事業目的	消防団員数が条例定数を大きく割り込んでいるため、減少傾向にある消防団員を確保し、さらに消防団組織を充実することでより一層市民の安心安全に努める。				成果目標	新規入団者数（年間）		課題・今後の方向性	退団者に対する入団者の比率は13%であり、団員減少傾向にある。新規入団者の確保事業は継続する必要がある。
主な事業内容 (R4年度)	・消防団協力事業所制度の推進 ・消防団員募集及び消防団応援事業に関するポスター、パンフレット、ノベルティー作製及び配布 ・消防団活動の地域へのアピール（学校・自主防災組織等の避難訓練の参加、各種イベント会場での広報、入団促進ポスターコンクールの開催） ・消防団応援事業 ・消防団員募集ポスターコンクールの実施				令和4年度	30人			
					令和5年度	30人			
					令和6年度	30人			

NO.	41	事業名	消防設備整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	消防本部総務課 地域消防G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	8 箇所
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	30,888 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	30,723 千円			
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 消防施設費			
事業目的	火災が発生した場合の延焼拡大を防止するため、初期消火及び延焼防止に有効な防火水槽等を整備し、消防施設の充実を図る。				成果目標	消防施設の整備件数		課題・今後の方向性	防火水槽3基及び新設設計3箇所については計画通り完了した。消火栓については2基設置、1基については設置場所の調整に時間を要し未設置となる。 設置費用が高騰傾向にあり、当初設置数に対し一部変更が生じる見込みがあるものの、地区からの要望及び消防水利の基準等に基づき、整備事業を継続する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火水槽新設（3箇所）</li> <li>消火栓新設（3箇所）</li> <li>次年度防火水槽新設工事設計業務委託（3箇所）</li> </ul>				令和4年度	9 箇所			
					令和5年度	9 箇所			
					令和6年度	9 箇所			
方針						B 現行どおり			

NO.	42	事業名	消防車両等整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	消防本部総務課 地域消防G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	3 台
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	45,007 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	43,381 千円			
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	02 消防施設費			
事業目的	地域防災の拠点となる重要な消防設備の充実を図ることにより、災害時における市民への被害を未然に防止または、最小限に抑制し、地域消防力を向上させる。				成果目標	消防車両整備台数		課題・今後の方向性	消防団に配備している総車両台数は令和4年度以降55台あり、更新期間を20年～25年としたうえで整備事業を推進する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>小型動力ポンプ付積載車購入（3台）</li> </ul>				令和4年度	3 台			
					令和5年度	3 台			
					令和6年度	3 台			
方針						B 現行どおり			

NO.	43	事業名	消防防災設備整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	消防本部警防課 警防G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	1 台
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	69,599 千円			
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	63,204 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 常備消防費			
事業目的	各種災害からの市民等の生命、身体及び財産を保護するため、迅速かつ効果的な消防活動の際に必要なとなる消防車両等について更新を行い、消防力の強化を図る。				成果目標	車両等の更新台数		課題・今後の方向性	・消防車両の整備に基づき、車両の更新が出来ており、消防力の強化が図られている。
主な事業内容 (R4年度)	車両等の更新 ・消防ポンプ自動車 1台（東消防署）				令和4年度	1 台			
					令和5年度	2 台			
					令和6年度	3 台			
方針						B 現行どおり			

NO.	44	事業名	応急手当普及啓発事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	消防本部警防課 警防G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	712 人
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	266 千円			
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	42 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 常備消防費			
事業目的	年間を通し市民に救急救命講習を行い、救急車到着までバイスタンダーによる救命処置により、救命率の向上を図る。				成果目標	救急講習の受講者数		課題・今後の方向性	・新型コロナウイルス感染者数増加等により救命講習を自粛した為、受講者数が減少した。 ・新型コロナウイルスの扱いが感染症法上5類となったことから、再度応急手当の重要性を市民の方々に伝え、救命講習受講者数向上を図る。
主な事業内容 (R4年度)	・月1回市民向けの救命講習を実施 ・各事業所等に出向し救命講習を実施 ・市広報誌等により受講者に救命処置の重要性を伝える。				令和4年度	1,000 人			
					令和5年度	1,500 人			
					令和6年度	2,000 人			
方針						B 現行どおり			

NO.	45	事業名	救急医療体制強化事業			総合戦略		成果（実績）		
担当部署	消防本部警防課 警防G				事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	2. だれもが安心して暮らせるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和 4年度	2 回	
	政策名	3. 災害に強いまちづくり			当該年度概算事業費	24,515 千円				
	施策名	8. 消防・救急救助体制の充実			当該年度事業決算額	18,157 千円		評価結果	A 期待通りの成果	
予算科目	款	09 消防費	項	01 消防費	目	05 常備消防費				
事業目的	救命処置が必要な傷病者が発生した場合等に、常陸大宮済生会病院の医師等がドクターカーで出場し、常陸大宮市の消防隊員と連携して医療行為を行うことにより、市民の救命率の向上と後遺症の軽減を図る。				成果目標	ドクターカーの運行（週）		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤医師4名により、週2回のドクターカー運行を継続している状況ではあるが、今後の医師確保にあつては不明確な状況である。</li> <li>・各関係機関と連携を図り、ドクターカースタッフ増強を図る。</li> </ul>	
主な事業内容 (R 4年度)	ドクターカーの運行：週2回（月・金曜日）18時から翌朝7時30分まで					令和 4年度	2 回			
						令和 5年度	2 回			
						令和 6年度	2 回			
						方針	B 現行どおり			

## 大綱 3

自然と調和した快適で安全なまち

---

NO.	46	事業名	常陸大宮駅周辺整備事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	建設部駅周辺整備推進課 駅周辺整備推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和 4年度	21 %
	政策名	1. 魅力と特色あるまちづくり			当該年度概算事業費	657,427 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 計画的な土地利用と拠点づくりの推進			当該年度事業決算額	661,332 千円			
予算科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路新設改良費			
事業目的	JR常陸大宮駅周辺を市役所等の行政関係機能のほか、医療・福祉、情報・サービス機能等が集積された都市中心拠点として、住民生活の質の向上とまちの活性化を図り、計画的な都市基盤整備を進める。				成果目標	補助事業進捗率		課題・今後の方向性	R5年度の駅舎・自由通路整備施行協定締結に向けて、JRとの協議を進める。道路整備の早期着工に向けて、関係機関との協議及び関係地権者との合意形成（用地交渉）を図る。
主な事業内容 (R 4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺区域内道路詳細設計</li> <li>・駅周辺区域内整備用地不動産鑑定</li> <li>・駅周辺区域内整備用地購入及び用地補償</li> <li>・常陸大宮駅周辺道路照明灯デザイン作成</li> <li>・常陸大宮駅東口・西口駅前広場実施設計</li> <li>・都市計画道路大宮停車場線電線共同溝設計</li> <li>・常陸大宮駅前広場多目的施設実施設計</li> <li>・常陸大宮駅前広場用地測量</li> <li>・常陸大宮駅東西自由通路及び駅舎整備事業に伴う実施設計</li> </ul>				令和 4年度	23 %			
					令和 5年度	48 %			
					令和 6年度	77 %			
方針	A 拡充								

NO.	47	事業名	地域創生まちづくり事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和 4年度	25 件
	政策名	1. 魅力と特色あるまちづくり			当該年度概算事業費	16,937 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 計画的な土地利用と拠点づくりの推進			当該年度事業決算額	7,627 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	地域で豊かに生活し続けるため、地域の特性を生かした地域創生まちづくり指針に基づく地域振興策を推進する。				成果目標	地域創生まちづくり事業補助金交付件数		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創生まちづくり指針の計画期間満了に伴い、令和4年度をもって事業を終了する。</li> <li>・地域創生まちづくり補助金については、内容を見直し、担当部署での取組や後継補助金を創設し対応する。</li> </ul>
主な事業内容 (R 4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創生まちづくり指針の改訂</li> <li>・地域創生まちづくり推進委員会の開催</li> <li>・地域創生まちづくり事業補助金の交付</li> </ul>				令和 4年度	20 件			
					令和 5年度	—			
					令和 6年度	—			
方針	F 完了								

NO.	48	事業名	移住・定住促進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部定住推進課 定住推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和 4年度	105 件
	政策名	1. 魅力と特色あるまちづくり			当該年度概算事業費	83,428 千円			
	施策名	2. 移住・定住の促進			当該年度事業決算額	84,303 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	移住・定住希望者に対し、細やかな情報提供や支援を行い、定住人口の増加を図る。				成果目標	定住促進のための住宅取得奨励金の交付件数		課題・今後の方向性	農業希望者や田舎暮らし希望者をターゲットにした移住体験ツアーを実施するとともに、都内での移住セミナーへ参加し情報発信、移住相談を行う。 また、LINEでの移住相談窓口を開設し、相談対応の拡充を図る。
主な事業内容 (R 4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>PR促進（各種機関媒体、移住・定住促進ホームページを通じての事業PR等）</li> <li>相談会等への参加（都内等、又はリモートでの移住相談会・セミナーへの参加）</li> <li>移住体験事業の実施</li> <li>定住促進のための住宅取得奨励金、新婚家庭家賃助成金、わくわく茨城生活実現事業移住支援金の交付</li> </ul>				令和 4年度	92 件			
					令和 5年度	92 件			
					令和 6年度	92 件			
		方針		A 拡充					

NO.	49	事業名	道路整備事業（用地）			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	建設部土木建設課 用地G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和 4年度	6 路線
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	59,199 千円			
	施策名	3. 道路・交通体系・河川の整備			当該年度事業決算額	33,068 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
予算科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路新設改良費			
事業目的	市道整備に必要な事業用地を確保するため、民有地を買収（地上の支障物件移転補償を含む。）し、市民の道路利用に関する利便性及び安全性の向上に資する。				成果目標	整備計画に基づく路線数9路線		課題・今後の方向性	計画どおりの用地取得に至らなかった事業については、引き続き権利者への個別説明や協議の計画的実施に努め、権利者から理解と協力を得て事業の推進を図る。
主な事業内容 (R 4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地売買契約の流れ</li> <li>1 用地測量及び家屋等調査の成果に基づき、土地の買収金額及び支障物件の移転補償費を算定。</li> <li>2 土地売買契約の締結</li> <li>3 所有権移転登記完了確認後土地代金の支払い及び補償物件の移転完了確認後補償費の支払い</li> <li>4 取用法適格事業であるため、翌年度の確定申告時に添付するための買取り申出証明書及び買取り証明書を交付する。</li> </ul>				令和 4年度	9 路線			
					令和 5年度	9 路線			
					令和 6年度	9 路線			
		方針		C 見直し					

NO.	50	事業名	道路整備事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	建設部土木建設課 土木G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	10 箇所
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	184,040 千円			
	施策名	3. 道路・交通体系・河川の整備			当該年度事業決算額	178,511 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路新設改良費		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備に伴い、公共用地の取得が重要だが、計画的に用地取得が進まずに進捗率が停滞していた路線が存在するので、さらに関係者へ協力をお願いしていく必要がある。</li> <li>・用地未取得箇所は後年施工とし、可能箇所を優先施工し早く完成させたい。</li> </ul>
事業目的	安全かつ円滑・快適な交通を確保するため、市道の改良工事を行い、道路交通体系を整備し、生活利便性の向上を図る。				成果目標	対象路線数			
主な事業内容（R4年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託 委託料 雨水排水計画策定 調査測量設計等委託料 8路線、その他随時分</li> <li>・工事 市道工事 9路線</li> </ul> 令和4年度は上記路線の整備に取り組み、地域内の生活に密着した安全で快適な生活環境の確保のため整備を実施している。				令和4年度	9 箇所			
					令和5年度	8 箇所		方針	A 拡充
					令和6年度	10 箇所			

NO.	51	事業名	地域公共交通維持活性化事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	92 人
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	205,357 千円			
	施策名	3. 道路・交通体系・河川の整備			当該年度事業決算額	194,226 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	11 諸費		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗合タクシーの利便性や稼働率が課題であるため、AIデマンドシステムを導入する。</li> <li>・路線バスについては、利用状況を分析し、運行補助の内容を見直す。</li> </ul>
事業目的	本市の地域特性に応じた持続可能な地域公共交通の維持・活性化を図ることを目的に、地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画に基づく事業を推進する。				成果目標	予約制乗合タクシー利用者数（1日平均）			
主な事業内容（R4年度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通会議の開催</li> <li>・地域公共交通計画の策定</li> <li>・公共交通の利用促進の実施</li> <li>・路線バス維持に係る補助等</li> <li>・予約制乗合タクシー運営補助（社会福祉協議会への補助）</li> </ul>				令和4年度	105 人			
					令和5年度	110 人		方針	A 拡充
					令和6年度	115 人			

NO.	52	事業名	水道普及促進支援事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	上下水道部総務経営課 総務経営G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	135 件
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	- 千円			
	施策名	4. 住環境の向上			当該年度事業決算額	- 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	-	項	-	目	-		課題・今後の方向性	県補助金を活用した事業であるため県水道普及促進支援事業の実施期間に合わせて見直しが必要。 (減免額：4,050千円)
事業目的	新規水道加入者及び既に加入している者でメーター口径の増径をする者に対して、加入金の一部を減免することにより、市の水道普及率の向上を図り、もって水道事業の健全な発展に資することを目的とする。				成果目標	新規加入件数			
	主な事業内容 (R4年度)	新規水道加入者及び既に加入している者でメーター口径の増径をする者に対して、水道加入金を一律3万円減免する。				令和4年度	120 件		
		令和5年度	120 件						
令和6年度		120 件	方針	B 現行どおり					

NO.	53	事業名	水道配水管更新事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	上下水道部施設管理課 水道工務G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	5,556 m
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	462,400 千円			
	施策名	4. 住環境の向上			当該年度事業決算額	341,758 千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
予算科目	款	02 資本的支出(水道)	項	01 建設改良費	目	05 配水管布設費		課題・今後の方向性	県道改良工事発注見送り及び道路改良工事の繰越があったため、年度内の目標達成は出来なかった。 今後も有収率の向上を図るため、道路改良に合わせた老朽管の更新や漏水多発区間の配水管更新等による効果的な更新事業を行う。
事業目的	水道水の安定供給及び漏水量を削減するため、配水管の改良・耐震化の更新事業を行う。				成果目標	配水管の更新延長			
	主な事業内容 (R4年度)	・実施設計業務委託 ・配水管布設替工事 7,050m				令和4年度	7,050 m		
		令和5年度	7,400 m						
令和6年度		7,400 m	方針	B 現行どおり					

NO.	54	事業名	デジタル・トランスフォーメーション推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	総務部総務課 情報・統計G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	1 件
	政策名	2. 社会基盤の整った快適なまちづくり			当該年度概算事業費	300 千円			
	施策名	5. ICTなどの先進技術の活用とDXの推進			当該年度事業決算額	0 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費			
事業目的	市の行政サービスにおいて、デジタル技術やデータを活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の観点からも、デジタル技術やAI等の検討を図り、業務効率化を推進する。				成果目標	DXを活用した事業数		課題・今後の方向性	DXに関する研修会を実施。市DX計画を策定。窓口DX（かんたん窓口、ライブ窓口）運用開始。DX計画に基づく事業に取り組みとともに、年度毎に随時検討・見直ししつつ、より効果的なDX事業を推進する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内関係部署との調整</li> <li>・ 令和4年度内の計画策定</li> <li>・ 職員研修の開催</li> </ul>				令和4年度	0 件			
					令和5年度	2 件			
					令和6年度	4 件			
方針						A 拡充			

NO.	55	事業名	有害鳥獣被害防止対策事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 農地調整G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	628 頭
	政策名	3. 豊かな自然と調和した環境にやさしいまちづくり			当該年度概算事業費	18,438 千円			
	施策名	6. 自然環境の保全と活用			当該年度事業決算額	11,125 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費			
事業目的	有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣捕獲を実施する。また、防護柵等の対策に市の補助金を活用することで、農作物被害の軽減に努める				成果目標	有害鳥獣捕獲頭数（イノシシ）		課題・今後の方向性	一時的に減少していた野生イノシシの出現数の増加に伴い、捕獲頭数も前年度を大きく上回った。今後も継続して対策を講じていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常陸大宮市有害鳥獣捕獲隊への有害鳥獣捕獲委託</li> <li>・ 電気柵及びフェンス等の購入に対する補助金</li> <li>・ 狩猟期間中におけるイノシシ捕獲に対する助成金</li> <li>・ 狩猟免許取得に対する助成金</li> <li>・ イノシシ捕獲用箱わなの貸出し</li> <li>・ 鳥獣被害無くし隊に対する活動支援補助金</li> </ul>				令和4年度	500 頭			
					令和5年度	600 頭			
					令和6年度	720 頭			
方針						B 現行どおり			

NO.	56	事業名	地球温暖化対策推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	24 件
	政策名	3. 豊かな自然と調和した環境にやさしいまちづくり			当該年度概算事業費	1,500 千円			
	施策名	7. 地球環境・生活環境の保全と向上			当該年度事業決算額	1,200 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費			
事業目的	新エネルギーの活用による自然環境保全のため、住宅用太陽光発電システムに接続する市民に対して、その経費の一部を補助し、環境への負荷の少ない生活を支援することにより地球温暖化防止に寄与する。				成果目標	補助金交付件数		課題・今後の方向性	再生可能エネルギーの利用及び取り組みの支援として、今後も機器の導入に対し現行どおり事業の推進を図る。
主な事業内容 (R4年度)	・住宅等における再生可能エネルギーの導入促進を図るため、自立・分散型エネルギー設備（蓄電システム）を設置する方に対し、設置費の一部を補助。（蓄電システム1設備 50,000円）				令和4年度	24 件			
					令和5年度	24 件			
					令和6年度	24 件			

NO.	57	事業名	生活環境等美化事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	2 回
	政策名	3. 豊かな自然と調和した環境にやさしいまちづくり			当該年度概算事業費	3,057 千円			
	施策名	8. 循環型社会の構築			当該年度事業決算額	2,763 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 清掃総務費			
事業目的	地域の環境美化と環境保全を推進するため、常陸大宮市全域の一斉クリーン作戦を実施するほか、河川の清掃を行うことで、河川や地域の環境美化を図り、環境保全に寄与することを目的とする。				成果目標	クリーン作戦の実施		課題・今後の方向性	地域の環境美化及び環境保全を推進するため、今後も現行どおり事業に取り組む。
主な事業内容 (R4年度)	・環境保全推進委員会長の開催 ・一斉クリーン作戦の実施 ・久慈川・那珂川の河川清掃の実施				令和4年度	2 回			
					令和5年度	2 回			
					令和6年度	2 回			

NO.	58	事業名	防犯対策事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	1 箇所
	政策名	4. 安全・安心な暮らしを守るまちづくり			当該年度概算事業費	7,202 千円			
	施策名	9. 防犯・交通安全対策の充実			当該年度事業決算額	6,846 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 防犯対策費			
事業目的	市民等を見守るとともに、身近で発生する街頭犯罪を未然に防止することで、犯罪に対する抑止力を高め、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するため防犯カメラを設置する。 警察署など関係機関との連携のもと、自主的な防犯組織の支援を行うことで、防犯意識の高揚を図り、地域ぐるみの防犯体制の充実を図ることを目的とする。				成果目標	防犯カメラ設置箇所		課題・今後の方向性	街頭犯罪を未然に防止するため、主要幹線道路の交差点や駅前周辺等に防犯カメラを設置し事業の推進を図る。 防犯活動者の高齢化及びなり手不足が深刻。
主な事業内容 (R4年度)	・市内の交差点等に防犯カメラを設置する。(1箇所:カメラ3台・レコーダー2台) ・大宮・山方・美和・緒川・御前山防犯連絡協議会及び分会が、児童生徒の登下校時を主として自主的にパトロールを行う。				令和4年度	1 箇所			
					令和5年度	1 箇所			
					令和6年度	1 箇所			

NO.	59	事業名	防犯灯整備管理事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	17 基
	政策名	4. 安全・安心な暮らしを守るまちづくり			当該年度概算事業費	23,704 千円			
	施策名	9. 防犯・交通安全対策の充実			当該年度事業決算額	24,176 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 防犯対策費			
事業目的	夜間における歩行者等の安全確保及び犯罪防止を図るため、市内の危険箇所等に防犯灯を設置するとともに、防犯灯の適正な維持管理を行うことを目的とする。				成果目標	防犯灯の新設置数		課題・今後の方向性	夜間における歩行者等の安全確保及び犯罪防止の取り組みとして、今後も現行どおり事業の推進を図る。
主な事業内容 (R4年度)	・区長から要望書の提出により、防犯灯設置要項に基づき防犯灯の新規設置を行う。 ・区長から要望書の提出により、防犯灯の修繕を行う。				令和4年度	15 基			
					令和5年度	15 基			
					令和6年度	15 基			

NO.	60	事業名	交通安全対策事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	市民生活部生活環境課 生活環境G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	108 件
	政策名	4. 安全・安心な暮らしを守るまちづくり			当該年度概算事業費	3,052 千円			
	施策名	9. 防犯・交通安全対策の充実			当該年度事業決算額	2,507 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	07 交通安全対策費			
事業目的	交通安全思想の普及と交通安全教育の徹底を図るため、交通安全教室を開催するとともに、運転に不安がある方が安心して免許証返納ができるよう支援品を交付する。				成果目標	支援事業新規申請件数		課題・今後の方向性	交通安全対策の強化及び高齢者の免許証返納が順調に推移していることから、今後も現行どおり事業を推進する。
主な事業内容 (R4年度)	・幼稚園、保育所、小中学校、高齢者クラブ等における交通安全教室の開催 ・高齢者運転免許証自主返納支援事業 65歳以上で、平成29年4月1日以降運転免許証の自主返納をした方に対し、下記のいずれかの支援品を3年間交付する。 ①路線バスICカード乗車券（12,000円分） ②予約制乗合タクシー利用券（12,000円分） ③路線バスICカード乗車券（6,000円分）及び予約制乗合タクシー利用券（6,000円分）				令和4年度	100 件			
					令和5年度	100 件			
					令和6年度	100 件			

NO.	61	事業名	空き家等対策事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	建設部都市計画課 住宅・営繕G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	3. 自然と調和した快適で安全なまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	12 件
	政策名	4. 安全・安心な暮らしを守るまちづくり			当該年度概算事業費	6,409 千円			
	施策名	10. 生活安全の充実			当該年度事業決算額	2,336 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費			
事業目的	市内の空家等について、所有者へ適切な管理を促すとともに、不適切管理の空家等については、助言・指導を行い住生活環境の向上を図る。あわせて、空家等の利活用を促進し、地域活性化に資する。				成果目標	空き家バンク登録物件		課題・今後の方向性	未だ市内には、適切な管理や利活用がされていない空き家が多いため、引き続き広報誌やリーフレットの配布等により、空き家の適正管理や解体費補助制度の利用を促し、管理不全空家等の発生を抑制する。また、空き家バンクについては、管理不全による危険空家の増加を予防し、かつ比較的安価な物件を流通させることにより、移住、定住施策につながることから現行通り継続する。
主な事業内容 (R4年度)	空き家バンク制度の活用や空家解体費補助制度の活用により、空家・空家跡地の利活用・流通の促進を促す。 また、市広報誌やリーフレット配布により所有者へ周知することで特定空家や管理不全空家の発生を抑制する。				令和4年度	5 件			
					令和5年度	8 件			
					令和6年度	10 件			

## 大綱4

みんなで作る協働のまち

---

NO.	62	事業名	集落支援事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	4回
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	7,990千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 地域コミュニティ活動の充実			当該年度事業決算額	4,428千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	人口減少及び高齢化の進む集落の現状と課題、要望等を把握し、集落の維持・活性化に資する方策などを構築するため集落支援員を配置する。				成果目標	集落支援員の情報交換会の開催数		課題・今後の方向性	集落支援員制度の所期の目的については概ね達成したと考えられることから、令和4年度をもって事業完了とする。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少及び高齢化の進行する集落の維持・活性化のために地域担当集落支援員を配置</li> <li>・農家民泊体験事業の推進に向けた受入れ地区との意見交換等</li> </ul>				令和4年度	5回			
					令和5年度	—			
					令和6年度	—			

NO.	63	事業名	地域おこし協力隊事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	75%
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	23,015千円		評価結果	C 期待した成果を下回っている
	施策名	1. 地域コミュニティ活動の充実			当該年度事業決算額	15,063千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	都市住民を地域おこし協力隊員として任用し、地域の魅力PR、お祭りなどの地域おこし支援活動や、農村漁業の応援、住民支援などの地域協力活動に対する支援を行いながら、あわせて隊員の定住・定着を図る。				成果目標	隊員の個別目標の達成度		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退任後のビジョンが明確にならず、活動内容が定まらない隊員もいるため、引き続きミーティングなどによる支援を行っていく。</li> <li>・新規隊員の採用については、関係部局と調整し、活動内容を明確にしたうえで、必要に応じて募集を行う。</li> </ul>
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員（4名）を委嘱し、地域活性化事業に向けた活動等の支援</li> <li>・市内に定住し、かつ市内で起業する地域おこし協力隊を対象に補助金を支給</li> </ul>				令和4年度	100%			
					令和5年度	100%			
					令和6年度	100%			

NO.	64	事業名	市民協働のまちづくり推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 市民協働G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	4回
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	2,370千円			
	施策名	2. 市民と行政による協働の推進			当該年度事業決算額	558千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	区やNPO法人、市民活動団体、企業、行政等がお互いを尊重・理解し、それぞれの果たすべき責任と役割を自覚して、対等な立場で協力・補完し合いながら、市民と行政による協働のまちづくり推進を進める。				成果目標	市民協働のまちづくり委員会の開催数		課題・今後の方向性	
主な事業内容 (R4年度)	○市民協働のまちづくり指針の実現のため、市民協働のまちづくり基本計画に基づき市民協働のまちづくりを推進する。 ・市民協働・地域創生まちづくり基本計画の策定 ・市民協働のまちづくり委員会の開催 ・まちづくり推進連絡会の開催（関係課長会議） ・協働推進員の導入 ・ホームページによる市民団体等の情報発信 ・協働の担い手の育成 ・まちづくり活動拠点の確保				令和4年度	4回			
					令和5年度	4回			
					令和6年度	4回			
					方針	A 拡充			

NO.	65	事業名	常陸大宮市人財ネットワーク推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 市民協働G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	152回
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	398千円			
	施策名	2. 市民と行政による協働の推進			当該年度事業決算額	150千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	市内の各分野で活躍する市民を「ひたまる先生」として発掘・登録・活用し、いつでも、どこでも、だれでも楽しく学びあえる共有システムを築くとともに、交流を通して各分野で活躍できる支援により、人づくりの推進、豊かな人間関係と地域社会づくりに貢献する。				成果目標	講座開設		課題・今後の方向性	
主な事業内容 (R4年度)	・コミュニケーション講座、ニュースポーツ、読み聞かせ、パソコン講座、和太鼓講座等の開催 ・ひたまる先生パンフレット作成				令和4年度	85回			
					令和5年度	85回			
					令和6年度	85回			
					方針	B 現行どおり			

NO.	66	事業名	市民協働提案事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 市民協働G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	2 件
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	1,000 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	2. 市民と行政による協働の推進			当該年度事業決算額	834 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	市民協働のまちづくり指針の目標を実現するため、市民団体等から提案事業を募集し、市と協働で実施することにより、行政や地域の課題の解決及びより良いまちづくりにつながる事業を推進する。				成果目標	提案事業件数		課題・今後の方向性	新たに策定した「常陸大宮市地域創生まちづくり計画」に基づく施策として、今まで課題であった“より参画しやすい制度”を新設した。 ・一般協働事業：上限300万円（既存の50万円を見直したもの） ・育成協働事業：上限30万円（書面審査のみ・新設）
主な事業内容 (R4年度)	市民団体等から事業提案を募集し、採用された提案事業に対し補助を行う。 【応募資格】：組織として実態を持ち市内に事務所を置く法人または、市内に活動拠点を置く5人以上の構成員で組織している市民団体等 【補助内容】：「対象経費の合計額から事業による収入を控除した額」または「50万円」のいずれか低い額 行政や地域が抱える課題に対し、市民団体等と行政が協働して解決するための仕組みを作り、市民団体等と行政による協働事業を実施する。				令和4年度	3 件			
					令和5年度	4 件			
					令和6年度	5 件			
		方針		G 統合					

NO.	67	事業名	地域間交流事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部定住推進課 定住推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	300 人
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	1,510 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 友好都市交流・地域間交流の推進			当該年度事業決算額	1,108 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	地域資源を活用した都市住民との交流、スポーツ交流及びイベント出展を行い、交流人口の拡大を図る。				成果目標	都市交流事業の参加者数		課題・今後の方向性	豊島区IKE-SUN PARK Farmers Marketへの出展、日野市とのスポーツ交流及び豊島区民・日野市民を対象としたツアーを継続する。
主な事業内容 (R4年度)	・地域資源を活用した体験型ツアーの開催 ・スポーツ団体による相互交流事業 ・イベント出展、まちづくり講座など				令和4年度	120 人			
					令和5年度	120 人			
					令和6年度	120 人			
		方針		B 現行どおり					

NO.	68	事業名	友好都市交流事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部定住推進課 定住推進G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	2,030 人
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	1,894 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 友好都市交流・地域間交流の推進			当該年度事業決算額	930 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	友好都市協定を締結している秋田県大館市及び宮城県刈田郡蔵王町と連携し、様々な分野の交流を促進するため、友好都市推進協議会の運営や各種交流事業の支援を行い、魅力あるまちづくりを推進する。				成果目標	共同出展イベント時のブース来場者数		課題・今後の方向性	大館市・蔵王町とは、イベント等への相互出展や首都圏でのイベントへの共同出展を継続する。また、大館市と本市の高等学校の交流を進めていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸大宮市・大館市友好都市推進協議会による各種事業の実施</li> <li>・蔵王町との各分野における交流の促進</li> <li>・友好都市交流事業助成金の交付</li> <li>・ふるさと納税感謝祭等への共同出展など</li> </ul>				令和4年度	1,000 人			
					令和5年度	1,000 人			
					令和6年度	1,000 人			
		方針		A 拡充					

NO.	69	事業名	友好都市産業交流事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 観光振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	3 回
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	1,728 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 友好都市交流・地域間交流の推進			当該年度事業決算額	908 千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	常陸大宮市と大館市のイベント等に相互に参加し、特産品販売や観光PR等を行うことにより、産業交流と合わせて市民交流の促進を図る。				成果目標	相互出店回数		課題・今後の方向性	秋田県大館市内の博覧会、蔵王町産業祭及びふれあい広場に市内商工業者と共に友好都市産業交流イベントに参加した。今後も友好都市との交流を図りながら市内特産品等の流通・販促・PRの拡大を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	ふれあい広場や、大館市のイベントに相互出店するなどし、産業交流を図る。				令和4年度	3 回			
					令和5年度	3 回			
					令和6年度	3 回			
		方針		B 現行どおり					

NO.	70	事業名	友好都市教育交流事業（生涯学習課）			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	10人
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	1,231千円			
	施策名	3. 友好都市交流・地域間交流の推進			当該年度事業決算額	1,038千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	平成27年度に友好都市協定を締結した秋田県大館市と小学生同士の交流を推進する。				成果目標	交流事業参加者数		課題・今後の方向性	大館市とは、城南小と本市大宮小学校の児童を通し、地域を越えた相互のふれあいや郷土への愛着心の醸成を図りながら交流を継続する。
主な事業内容 (R4年度)	夏休み期間中に小学生による友好都市（大館市）の大館市立城南小学校との交流を推進する。				令和4年度	12人			
					令和5年度	12人			
					令和6年度	12人			

NO.	71	事業名	中学生海外研修事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	教育委員会事務局学校教育課 教育総務G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略2「育てたい」		令和4年度	0人
	政策名	1. 市民の多様な活動を推進するまちづくり			当該年度概算事業費	33,989千円			
	施策名	4. 国際化への対応			当該年度事業決算額	6千円		評価結果	D 期待された成果があがっていない
予算科目	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 事務局費			
事業目的	国際性豊かな人材育成を目指し、市内中学校に在学している3年生を対象に海外研修を実施し、外国での生活体験を通して語学力の向上を図るとともに、歴史や文化、自然に触れることや人々との交流から友好親善と国際的な視野を広め国際感覚を養う。				成果目標	参加生徒数		課題・今後の方向性	研修先については、オーストラリアに限定せず、ネイティブな英語圏のアメリカやイギリス等も含めることや、日数についても検討する必要があると思われる。また、来年度以降も海外研修が実施できない場合は、国内で英語を体験する代替事業の実施を検討する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前研修の開催 4回</li> <li>結団式の実施</li> <li>オーストラリアへのホームステイ 8日間</li> <li>事後研修の開催 1回</li> <li>各学校での報告会の実施</li> </ul> ※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度事業中止				令和4年度	80人			
					令和5年度	80人			
					令和6年度	80人			

NO.	72	事業名	ふるさと応援基金事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	120,778 千円
	政策名	2. 戦略的な視点に立った持続可能なまちづくり			当該年度概算事業費	120,004 千円			
	施策名	6. 効率的・効果的な行政経営の推進			当該年度事業決算額	123,659 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	常陸大宮市の魅力を広く全国に発信することで、市を応援しようとする個人又は団体から寄せられた寄附金をそれぞれの思いを実現するための事業の財源として充てることにより、寄附者と共に魅力あるふるさとづくりを推進する。				成果目標	ふるさと応援寄附金額		課題・今後の方向性	寄附金の増加を図るため、積極的なPRと返礼品のリニューアルを進めていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと応援寄附金の受入</li> <li>ふるさと応援基金の管理</li> <li>ふるさと応援寄附制度の運用状況の公表</li> <li>ふるさと応援寄附制度のPR活動</li> </ul>				令和4年度	120,000 千円			
					令和5年度	130,000 千円			
					令和6年度	140,000 千円			

NO.	73	事業名	情報収集発信事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	企画部企画政策課 広報戦略G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	345,260 件
	政策名	2. 戦略的な視点に立った持続可能なまちづくり			当該年度概算事業費	5,982 千円			
	施策名	6. 効率的・効果的な行政経営の推進			当該年度事業決算額	5,790 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	常陸大宮市の様々な魅力や情報を収集し、その魅力をより多くの人に効果的に伝えるため、情報発信の基盤を整えるとともに、市民や市外の応援者による情報の収集・発信の流れをつくることを目的とする。				成果目標	市ホームページのアクセス数		課題・今後の方向性	ホームページのアクセス数は目標値を上回っているが、新型コロナウイルス感染症関連の影響もあると推測される。リニューアルしたホームページの一層の充実、アプリやSNSでの発信を強化していく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある情報発信連携協議会の開催</li> <li>公式SNSの利活用</li> <li>寄稿や投稿など常陸大宮大使による情報発信の推進</li> <li>公式ホームページのリニューアル</li> <li>ひたまるアプリの充実</li> </ul>				令和4年度	340,000 件			
					令和5年度	350,000 件			
					令和6年度	350,000 件			

NO.	74	事業名	茨城大学地域連携推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 市民協働G			事業区分	重点事業				
計画体系	大綱	4. みんなでつくる協働のまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	3 事業
	政策名	2. 戦略的な視点に立った持続可能なまちづくり			当該年度概算事業費	359 千円			
	施策名	7. 多角的な連携の推進			当該年度事業決算額	152 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	常陸大宮市と国立大学法人茨城大学が人的・物的資源の活用において連携協力し、地域の発展と人材の育成を図る。				成果目標	連携事業数		課題・今後の方向性	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け令和2年度より中止していた市民大学講座を再開することができた。一方で、事業効果が不透明な茨城大学の学園祭参加を取りやめとした。今後、事業の効果を検証しつつ事業内容や財政負担を検討する必要がある。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民大学講座の開催（前期・後期）</li> <li>まちづくりネットワーク会議の開催</li> <li>集中講義の実施</li> </ul>				令和4年度	5 事業			
					令和5年度	5 事業			
					令和6年度	5 事業			
						方針	B 現行どおり		

## 大綱5

魅力ある資源を生かした活力  
と誇りあふれるまち

---

NO.	75	事業名	道の駅常陸大宮管理事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和 4年度	480,440 千円
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	47,373 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	1. 誇れるものづくりの推進			当該年度事業決算額	39,322 千円			
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費			
事業目的	本市の魅力あふれる多様な地域情報を発信し、交流人口の拡大を促進するとともに、農業、観光、交流等における地域連携の拠点とし、活力ある地域の創生を図る。				成果目標	総売上額		課題・今後の方向性	本市における基幹施設として多様な地域情報を発信し、農業、観光、交流人口の拡大等における地域連携の拠点として、指定管理者と適宜調整を図りながら、来場者に喜ばれる道の駅を目指していく。 また、今後は平日における集客力の向上に向けた事業についても検討していく。
主な事業内容 (R 4年度)	指定管理による施設管理運営 ・年度協定の締結 ・事業計画書、事業実績報告書の受理受付 ・指定管理委託料の支払い ・指定管理評価の実施 ・指定管理者（元気な郷づくり株式会社）による管理運営に係る指導監督道の駅常陸大宮遊具設置工事				令和 4年度	444,000 千円			
					令和 5年度	444,000 千円			
					令和 6年度	444,000 千円			
		方針		B 現行どおり					

NO.	76	事業名	道の駅みわ管理事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和 4年度	419,219 千円
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	11,472 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 誇れるものづくりの推進			当該年度事業決算額	11,886 千円			
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費			
事業目的	本市の魅力あふれる多様な地域情報を発信し、交流人口の拡大を促進するとともに、農業、観光、交流等における地域連携の拠点とし、活力ある地域の創生を図る。				成果目標	総売上額		課題・今後の方向性	本市における拠点施設の一つとして、来場者や売上の動向等を注視しつつ、指定管理者と適宜調整を図りながら、来場者に喜ばれる道の駅を目指していく。
主な事業内容 (R 4年度)	指定管理による施設管理運営 ・年度協定の締結 ・事業計画書、事業実績報告書の受理受付 ・指定管理委託料の支払い ・指定管理評価の実施 ・指定管理者（株式会社ふるさと活性化センターみわ）による管理運営に係る指導監督				令和 4年度	432,700 千円			
					令和 5年度	432,700 千円			
					令和 6年度	432,700 千円			
		方針		B 現行どおり					

NO.	77	事業名	地域ブランド・6次産業化推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 生産流通G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	47 認証
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	806 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 誇れるものづくりの推進			当該年度事業決算額	1,586 千円			
予算科目	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費		課題・今後の方向性	令和4年度をもって事業完了とする。
事業目的	豊かな自然と高い技術のもとに生産される市内の農林畜水産物及び加工品等の地域ブランド化を推進することにより、市産品の生産・販売拡大を図るとともに、生産者の所得向上に向けた6次産業化を推進する。				成果目標	常陸大宮さん特産品認証品目数			
主な事業内容 (R4年度)	・市内農産物、加工品等の地域ブランドの確立に向け、常陸大宮さん特産品認証制度を継続する。				令和4年度	52 認証			
					令和5年度	—		方針	F 完了
					令和6年度	—			

NO.	78	事業名	ひたマルシェ交流事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 生産流通G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	558,710 人
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	2,388 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
	施策名	1. 誇れるものづくりの推進			当該年度事業決算額	1,997 千円			
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		課題・今後の方向性	令和4年度をもって事業完了とする。
事業目的	常陸大宮市内で生産・製造された農畜産物や加工品、特産品等を広く常陸大宮市内外にPRしていくため、交流拠点である道の駅常陸大宮「かわプラザ」等において「ひたマルシェ」を開催し、観光誘客に結び付け、農業・製造業・商業の活性化に寄与する。				成果目標	道の駅常陸大宮における年間レジ通過者数			
主な事業内容 (R4年度)	・「ひたマルシェ」として、市産品PRのための各種フェア等を、市の情報発信拠点である道の駅常陸大宮等に委託して実施 ・市外PRイベントに出店				令和4年度	584,000 人			
					令和5年度	—		方針	F 完了
					令和6年度	—			

NO.	79	事業名	起業サポート事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	6件
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	5,268千円			
	施策名	2. 新たな産業の誘致・育成			当該年度事業決算額	6,438千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工費			
事業目的	市と創業支援事業者である商工会、市内金融機関等の連携により、本市において起業を支援する体制を整え、創業希望者への各種支援を行うことにより、起業の促進及び雇用の創出を図る。				成果目標	起業件数		課題・今後の方向性	充実したセミナーの開催、商工会等との連携を密に行い、創業者支援ができたことで目標を達成できた。今後も創業支援事業計画に基づき推進していく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップ相談窓口の設置</li> <li>創業支援セミナー開催</li> <li>創業支援事業費補助金の交付</li> </ul>				令和4年度	4件			
					令和5年度	6件			
					令和6年度	9件			

NO.	80	事業名	企業誘致推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 商工・企業誘致G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	1件
	政策名	1. 誇りあふれる新たな産業を創出するまちづくり			当該年度概算事業費	15,778千円			
	施策名	2. 新たな産業の誘致・育成			当該年度事業決算額	12,782千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	01 商工費			
事業目的	企業誘致を積極的に推進し、雇用の安定と自主財源の確保に努める。				成果目標	企業誘致数		課題・今後の方向性	宮の郷工業団地の空き区画が市内企業に売却できたことから、目標を達成することができた。市内工業団地は全区画売却ができたことから今後の企業誘致のありかた、方向性など検討していく。
主な事業内容 (R4年度)	当市の立地環境を活かし、市独自の奨励金制度「常陸大宮市企業立地奨励金交付制度」、「常陸大宮市雇用奨励金交付制度」を活用した、県内外の地域との差別化による積極的な企業誘致を推進する。				令和4年度	1件			
					令和5年度	1件			
					令和6年度	1件			

NO.	81	事業名	御前山ダム周辺整備事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	205人
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	6,274千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	5,514千円			
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	御前山ダムやダム湖面の地域資源を有効に活用し、ダム周辺等への誘客や交流を促進して地域活性化を図る。				成果目標	イベント参加者数		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>湖面利用を開始することができ、カヌー等の体験イベントの参加者については目標を達成することができた。</li> <li>今後は国の交付金を活用した新たな事業により、ダム湖面を核としたアクティビティやプロモーションの取り組みを拡充し、御前山エリアの地域活性化を図っていく。</li> </ul>
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダム湖面の試験的活用（カヌーなどの体験イベント実施）</li> <li>ダム周辺の複合的な整備・活用に向けた検討（ハイキング・サイクリング・トレイルランなど）</li> </ul>				令和4年度	200人			
					令和5年度	—			
					令和6年度	—			
		方針		F 完了					

NO.	82	事業名	御前山・那珂川観光強化事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 観光振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	5人
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	3,965千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	3,487千円			
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費			
事業目的	御前山及び那珂川の広域利用促進を目的とし、常陸大宮市と城里町が連携し、地域間の交流拡大と広域観光の推進に関する事業を行うことにより交流人口の拡大を図り、地域の活性化と産業の推進に寄与する。				成果目標	「地域案内人」の人数		課題・今後の方向性	目標を達成することができた。今後も地域活性化と産業の推進を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域案内人（観光ガイド）育成事業</li> <li>観光ツアーの実施</li> <li>御前山トレイルラン</li> <li>那珂川カヌーフエス</li> <li>御前山サイクリングフェスティバル</li> </ul>				令和4年度	5人			
					令和5年度	5人			
					令和6年度	5人			
		方針		B 現行どおり					

NO.	83	事業名	観光誘客促進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 観光振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	23 件
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	2,599 千円			
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	2,212 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費			
事業目的	交流人口の拡大と地域経済の活性化を図るため、本市への団体旅行及び学生合宿の誘致を促進する。				成果目標	補助申請件数		課題・今後の方向性	目標を達成することができた。今後も交流人口の拡大と地域経済の活性化を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	本市を訪れる団体旅行を取り扱う旅行業者及び市内の宿泊施設を利用し宿泊する学生等に対し、補助金を交付する。 ・参加者（20名以上） 100,000円 ・参加者（10名以上19名以下） 50,000円 ※市のPRにつながる広告宣伝の実施で上記補助に20,000円上乗せ				令和4年度	12 件			
					令和5年度	15 件			
					令和6年度	15 件			

NO.	84	事業名	観光振興事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	産業観光部商工観光課 観光振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	125 万人
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	9,018 千円			
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	6,311 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費			
事業目的	本市の誇りである自然的・歴史的資源を保全・活用し、農業や商業との連携を図りながら新たに観光資源を創出するとともに、地域の暮らしやコミュニティに支えられた活力ある観光の振興を図る。				成果目標	観光入込客数		課題・今後の方向性	目標を達成することができた。今後も活力ある観光振興を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	・観光情報の提供や観光キャンペーン、観光宣伝印刷物等の作成等による各種観光客誘致宣伝活動 ・イベント実施団体等へのイベント開催経費の一部補助 ・観光振興基本計画の推進（ワーキンググループの運営支援等）				令和4年度	120 万人			
					令和5年度	133 万人			
					令和6年度	146 万人			

NO.	85	事業名	自転車活用推進事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部地域創生課 地域創生G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略3「来たい」		令和4年度	84 回
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	592 千円			
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	571 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	近年、自転車を活用して地域を巡り、地域の魅力を体験するサイクルツーリズムの取組みが活発化している。本市においても、自転車活用の有効性などを広く市民に浸透させつつ、安全に快適な自転車利用の環境整備を進め、サイクルツーリズムの推進による交流人口の増加や地域の活性化を図る。				成果目標	市サイクリングコース走行回数		課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルサポートステーションの設置など環境整備により目標を達成することができた。</li> <li>・今後はサイクルツーリズムの推進に加え、子どもなどを対象とした自転車に触れ合うきっかけづくりを行い、自転車活用を推進していく。</li> </ul>
主な事業内容 (R4年度)	茨城県と連携（地方創生推進交付金事業）し、サイクルツーリズムの取組を実施する。 ・サイクルサポートステーションの設置 （駐車ラック、空気入れ、修理用工具等の配備） ・奥久慈里山ヒルクライムルートのPR活動				令和4年度	30 回			
					令和5年度	50 回			
					令和6年度	70 回			

NO.	86	事業名	地域振興事業			総合戦略	○	成果（実績）	
担当部署	地域創生部各支所 総合窓口・地域振興G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和4年度	777 人
	政策名	2. 交流とにぎわいを創出する魅力あるまちづくり			当該年度概算事業費	4,126 千円			
	施策名	3. 魅力ある観光の振興			当該年度事業決算額	1,905 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果
予算科目	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	06 企画費			
事業目的	地域の特性や資源を活かしたイベント等の開催や環境整備をすることにより、交流と賑わいの創出を図り、地域活性化を推進する。				成果目標	イベント参加者数		課題・今後の方向性	イベントについては予定どおり実施することができたが、より多くの参加者を増やすため、広報紙やSNS等を活用した周知活動を積極的に行っていきたい。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漆塗り体験教室の開催（山方支所）</li> <li>・美和地域歴史文化探索ツアー（浪漫文化街並みづくり事業）</li> <li>・緒川地域里山スタンプラリー開催事業</li> <li>・御前山ダム自然満喫体験の実施</li> <li>・御前山ダム公園の環境整備</li> <li>・御前山ピオトープの維持管理</li> <li>・長倉城跡遊歩道整備（浪漫文化街並みづくり事業）</li> </ul>				令和4年度	970 人			
					令和5年度	970 人			
					令和6年度	970 人			

NO.	87	事業名	農業振興対策事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 農政G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	7 件
	政策名	3. 活力ある農林業等の推進によるまちづくり			当該年度概算事業費	25,422 千円		評価結果	A 期待通りの成果
	施策名	5. 活力ある農業の振興			当該年度事業決算額	20,527 千円			
予算科目	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費			
事業目的	農業振興を図るため、農業生産団体の育成や関係機関の支援を行う。				成果目標	補助事業による支援団体数		課題・今後の方向性	農業生産振興を図るためには、高性能機械・施設整備等の支援は重要なものであり、今後とも関係機関等と連携し、農業者の必要とする支援内容を的確に把握し支援を継続していく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種協議会等負担金</li> <li>穀物改良協会補助金</li> <li>水田防除協議会補助金</li> <li>儲かる産地支援事業費補助金</li> <li>未来を創る農業支援事業費補助金</li> <li>産地パワーアップ支援事業費補助金</li> </ul>					令和4年度	7 件		
						令和5年度	5 件		
						令和6年度	5 件		
		方針		A 拡充					

NO.	88	事業名	農業人材力強化総合支援事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 農政G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	1 人
	政策名	3. 活力ある農林業等の推進によるまちづくり			当該年度概算事業費	24,928 千円		評価結果	D 期待された成果があがっていない
	施策名	5. 活力ある農業の振興			当該年度事業決算額	14,908 千円			
予算科目	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費			
事業目的	持続可能な力強い農業を実現するために、次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、経営確立に資する資金を交付し、市内の農政新時代に必要な人材力の確保・育成を図る。				成果目標	新規就農者数		課題・今後の方向性	新規就農を希望する者と面談等を実施しているが、本人の希望と現実との乖離が生じ、本市での就農に至らないケースがある。関係機関との連携の強化や研修受け入れ先農家の確保等により、就農環境の向上を図っていく。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続対象者及び新規交付対象者に対して資金の交付</li> <li>年2回交付対象者より提出される就農状況報告に対し、面接等による確認・フォローアップの実施</li> </ul>					令和4年度	4 人		
						令和5年度	4 人		
						令和6年度	4 人		
		方針		B 現行どおり					

NO.	89	事業名	有機農業推進事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 農政G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	3 件
	政策名	3. 活力ある農林業等の推進によるまちづくり			当該年度概算事業費	1,410 千円			
	施策名	5. 活力ある農業の振興			当該年度事業決算額	2,100 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	06 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費			
事業目的	中山間地域における農家所得の向上を図るため、高付加価値農産物生産の取組として有機農業を推進する。				成果目標	取組農家数		課題・今後の方向性	現在、本市における農業生産の大部分は慣行栽培によるものであり、持続可能な食糧システム構築の手段の一つとして、有機農業の推進は重要な施策である。 今後、農業者への有機農業取組の啓発を行うとともに、必要な機械・施設等整備や活動に対する支援を行っていく。
主な事業内容 (R4年度)	有機農業推進連絡協議会を設立し、常陸大宮市における有機農業推進方策について検討を行う。 環境保全型農業直接支払補助金により取組農家を増加させる。				令和4年度	3 件			
					令和5年度	4 件			
					令和6年度	4 件			
方針							A 拡充		

NO.	90	事業名	バイオマス利活用事業			総合戦略		成果（実績）	
担当部署	産業観光部農林振興課 農林整備G				事業区分	重点事業			
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	該当なし		令和4年度	1,280 t
	政策名	3. 活力ある農林業等の推進によるまちづくり			当該年度概算事業費	39,242 千円			
	施策名	6. 地域の特色を生かした林業等の振興			当該年度事業決算額	23,076 千円		評価結果	A 期待通りの成果
予算科目	款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	01 林業総務費			
事業目的	未利用間伐材等の森林資源を木質バイオマスチップ燃料とし、市営温泉温浴施設に供給し燃料利用する。				成果目標	チップ燃料供給量		課題・今後の方向性	引き続き、森林資源の有効活用や化石燃料使用量削減による地球温暖化防止を推進する。
主な事業内容 (R4年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質バイオマスチップ製造施設管理運営</li> <li>市内温泉温浴施設（ささの湯・三太の湯・四季彩館）へのチップ供給</li> <li>木質バイオマスチップボイラー管理運営</li> </ul>				令和4年度	1,200 t			
					令和5年度	1,200 t			
					令和6年度	1,200 t			
方針							B 現行どおり		

NO.	91	事業名	木造住宅建設助成事業			総合戦略	○	成果（実績）		
担当部署	産業観光部農林振興課 農林整備G			事業区分	重点事業					
計画体系	大綱	5. 魅力ある資源を生かした活力と誇りあふれるまち			政策プロジェクト	戦略1「住みたい」		令和 4年度	16 棟	
	政策名	3. 活力ある農林業等の推進によるまちづくり			当該年度概算事業費	12,000 千円				
	施策名	6. 地域の特色を生かした林業等の振興			当該年度事業決算額	4,520 千円		評価結果	B 概ね期待通りの成果	
予算科目	款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費				
事業目的	市産材を使用した住宅の建設を推進することにより、林業の振興と地域産業の育成を図る。				成果目標	木造住宅建築に対する助成棟数		課題・今後の方向性	定住化の推進が図られるとともに市産材の使用、市内建設業者による建築を条件とすることで林業の振興や地域産業の育成に効果が期待できる。 【支払実績】 現年 8件 4,520千円 繰越 8件 4,640千円	
主な事業内容 (R 4年度)	市内において自らが居住する新築住宅を市内の建築業者によって、市産材を使用し建築する者に対して、助成金を交付する。 ・助成内容 5m3以上市産材使用で、木材1m3につき40,000円を助成(600,000円限度)					令和 4年度	20 棟			
						令和 5年度	20 棟			
						令和 6年度	20 棟			方針